

# 平成18年三重県消費者物価指数の動向

## 1 概 要

三重県…平成18年平均の三重県消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で100.3となり、前年に比べ0.3%の上昇でした。

持家の帰属家賃を除く総合指数は100.3で、こちらも前年に比べ0.3%の上昇でした。

全 国…平成18年平均の全国消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で100.3となり、前年に比べ0.3%の上昇でした。

持家の帰属家賃を除く総合指数は100.3で、こちらも前年に比べ0.3%の上昇でした。

近年の総合指数の動きを対前年上昇率で見ると、三重県も全国も平成10年まで上昇傾向が続き、平成11年～17年は下落傾向にありました。平成18年については、三重県・全国ともに上昇に転じました。

総合指数の値を三重県と全国とで比べると、平成16年までは三重県のほうが低い傾向にあります。平成18年については、三重県・全国ともに前年に比べ上昇し、同水準でした。(図1、表1、統計表第1表)

図1 消費者物価指数及び対前年上昇率

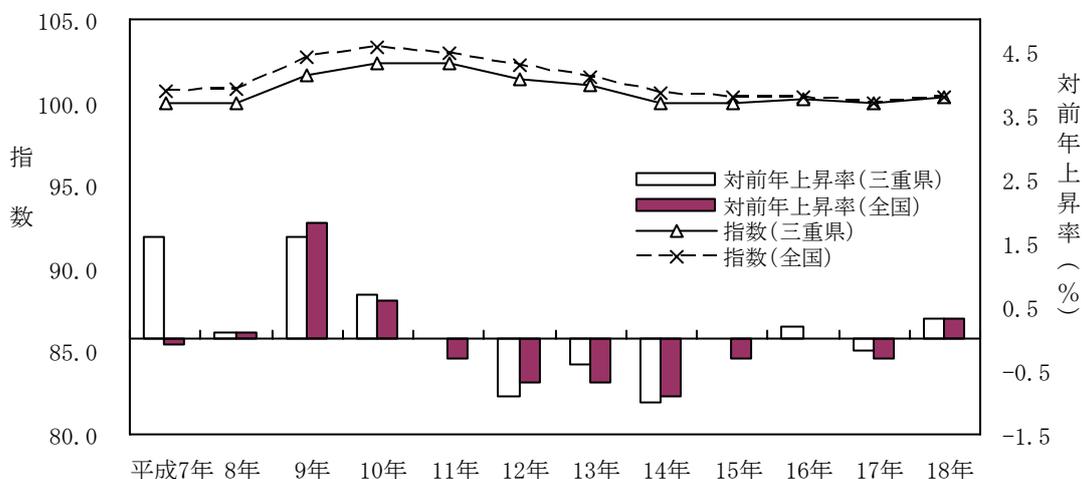


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成17年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)		総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)
平成5年	96.8	1.1	99.8	1.0	100.2	1.3	101.6	1.1	平成12年	101.4	-0.9	102.1	-0.9	102.2	-0.7	102.8	-0.9
平成6年	98.4	1.7	100.7	1.0	100.8	0.7	102.0	0.5	平成13年	101.0	-0.4	101.4	-0.7	101.5	-0.7	101.8	-0.9
平成7年	99.9	1.6	101.1	0.4	100.7	-0.1	101.8	-0.3	平成14年	100.0	-1.0	100.4	-1.0	100.6	-0.9	100.7	-1.1
平成8年	100.0	0.1	101.0	-0.1	100.8	0.1	101.8	0.0	平成15年	100.0	0.0	100.2	-0.2	100.3	-0.3	100.4	-0.3
平成9年	101.6	1.6	102.5	1.4	102.7	1.8	103.4	1.6	平成16年	100.2	0.2	100.2	0.0	100.3	0.0	100.4	0.0
平成10年	102.3	0.7	103.4	0.9	103.3	0.6	104.1	0.7	平成17年	100.0	-0.2	100.0	-0.2	100.0	-0.3	100.0	-0.4
平成11年	102.3	0.0	103.1	-0.3	103.0	-0.3	103.7	-0.4	平成18年	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3

※ 持家の帰属家賃を除く総合

## 2 年間の動き

平成18年における月々の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について、各月の対前年同月上昇率でみました。

1月は教養娯楽、食料などが下落し、総合指数は0.3%の下落、2月は教養娯楽、被服及び履物などが下落し、0.1%の下落となりました。

3月は食料、教養娯楽などが下落し、0.2%の下落、4月は教養娯楽、住居などが下落し、0.1%の下落、5月は食料、教養娯楽で0.1%の下落となりました。

6月は光熱・水道、交通・通信などが上昇し、0.3%の上昇、7月は光熱・水道、被服及び履物などが上昇し、0.3%の上昇、8月は食料、光熱・水道などが上昇し、1.3%の上昇となりました。

9月は食料、光熱・水道などが上昇し、0.9%の上昇、10月も同様の傾向で0.8%の上昇となりました。

11月は住居、被服及び履物などが上昇し、0.5%の上昇、12月も同様の傾向で0.7%の上昇となりました。(図2、表2、統計表第1表)

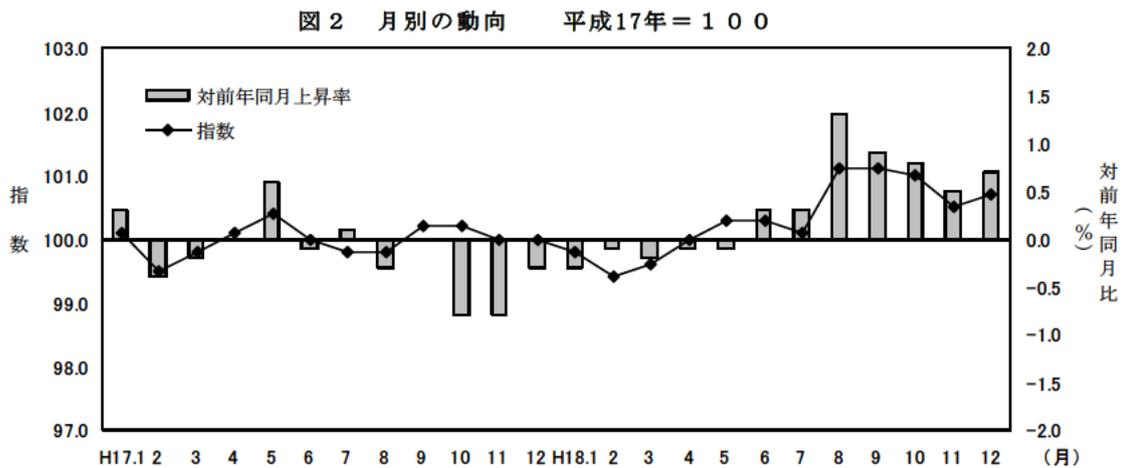


表2 対前年同月上昇率及び  
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度

対前年同月上昇率…単位:%

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
対前年同月上昇率	総合	三重県	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.1	0.3	0.3	1.3	0.9	0.8	0.5	0.7
		全国	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	0.1	0.5	0.3	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3
	持家の帰属家賃を除く総合	三重県	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	0.0	0.4	0.4	1.4	0.9	0.7	0.4	0.5
		全国	-0.1	-0.1	-0.3	-0.1	0.1	0.6	0.5	1.0	0.8	0.6	0.4	0.4
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度(小・中分類で寄与度の大きいもの)	自動車等関係費	0.31	0.32	0.39	0.25	0.26	0.26	0.19	0.34	0.29	0.20	0.12	0.09	
	教養娯楽用耐久財	-0.26	-0.22	-0.18	-0.23	-0.19	-0.19	-0.17	-0.17	-0.18	-0.18	-0.18	-0.19	
	ガス代	-0.04	-0.03	-0.02	0.14	0.15	0.15	0.16	0.17	0.16	0.16	0.11	0.11	
	通信	-0.15	-0.16	-0.16	-0.16	-0.14	-0.13	-0.15	-0.14	-0.14	-0.15	-0.02	-0.02	

### 3 費目別指数の動き

平成18年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、食料、住居、光熱・水道、被服及び履物、交通・通信、教育、諸雑費が上昇し、家具・家事用品、教養娯楽が下落しました。(図3、表3)

#### (1) 食料

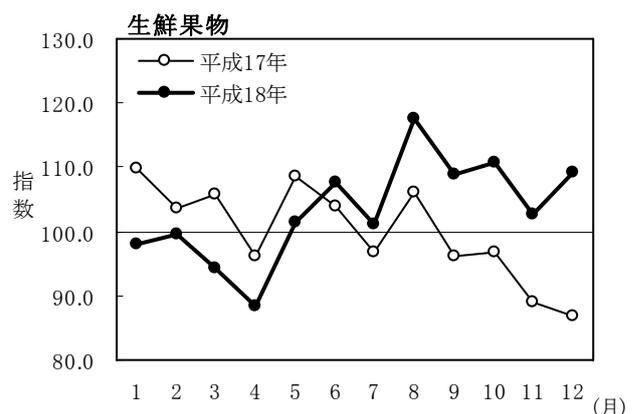
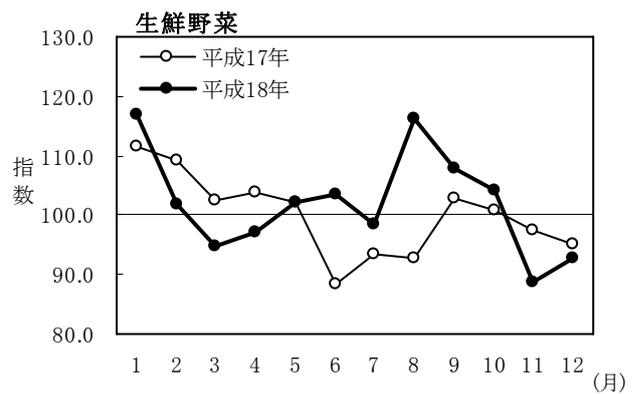
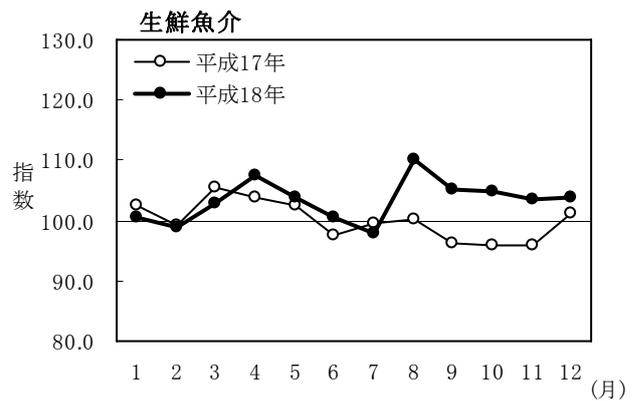
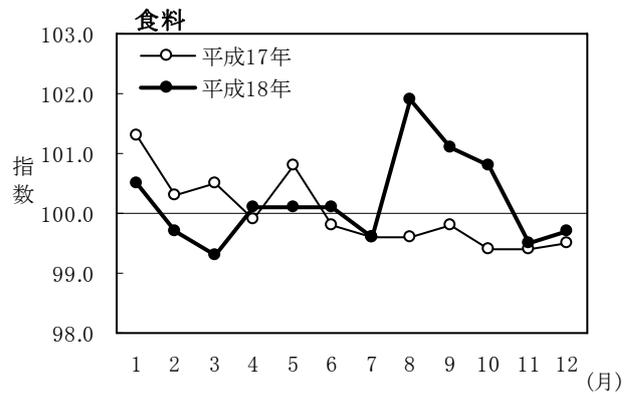
食料は 100.2 となり、前年に比べ 0.2%の上昇でした。

変化の内訳をみると、果物が 3.0 %、魚介類が 2.1 %、調理食品が 2.0%、野菜・海藻が 1.6%、外食が 0.1%の上昇でした。

一方、乳卵類が 4.3%、酒類が 3.3%、油脂・調味料、飲料が 0.9%、菓子類が 0.6%、肉類が 0.5%、穀類が 0.1%の下落でした。

なお、生鮮食品についてみると、

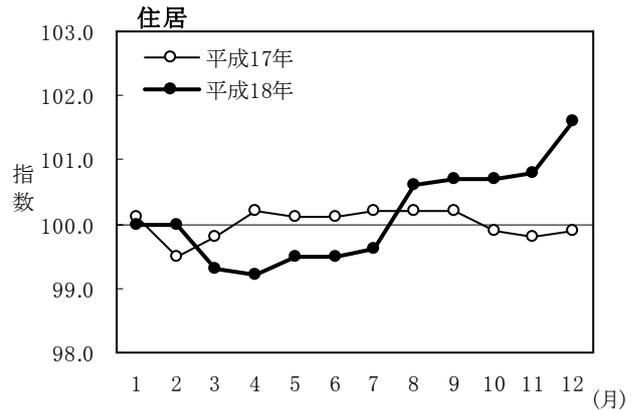
- ・生鮮魚介は、2月及び7月を除いて平成17年の平均水準である100を上回りました。平成18年平均は103.3となり、対前年比は3.3%の上昇でした。
- ・生鮮野菜は、1月、2月及び5月、6月、8月から10月にかけて平成17年の平均水準である100を上回りました。平成18年平均は102.1となり、対前年比は2.1%の上昇でした。
- ・生鮮果物は、5月以降は平成17年の平均水準である100を上回りました。平成18年平均は103.3となり、対前年比は3.3%の上昇でした。



## (2) 住居

住居は 100.1 となり、前年に比べ 0.1%の上昇でした。

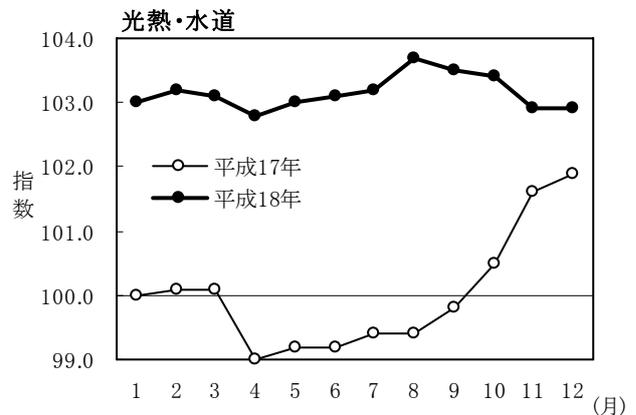
内訳をみると、家賃が 0.2%の上昇、設備修繕・維持が 0.3%の下落でした。



## (3) 光熱・水道

光熱・水道は 103.2 となり、前年に比べ 3.2%の上昇でした。

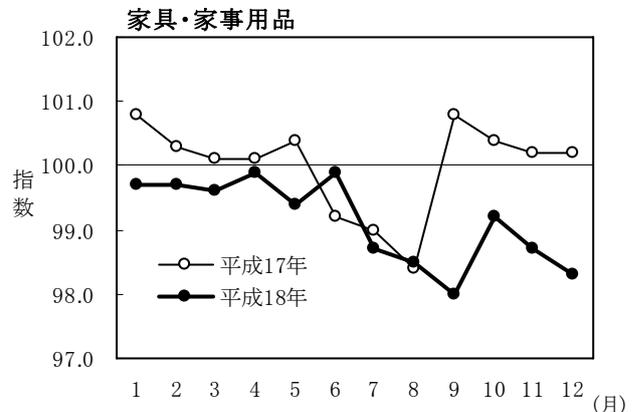
内訳をみると、他の光熱（灯油）が 23.2%、ガス代が 5.4%、電気代が 1.3%の上昇、上下水道が 1.2%の下落でした。



## (4) 家具・家事用品

家具・家事用品は 99.1 となり、前年に比べ 0.9%の下落でした。

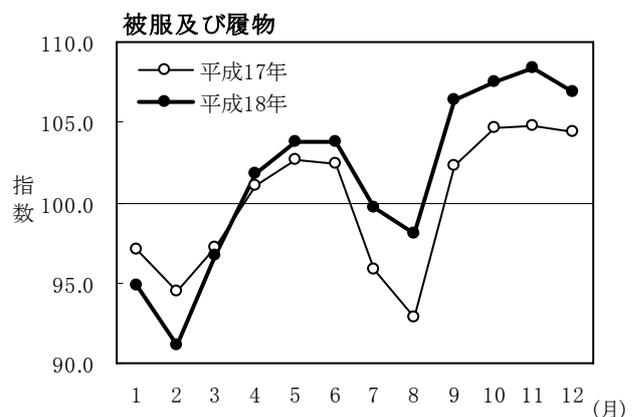
内訳をみると、寝具類が 1.7%の上昇、家事雑貨が 1.6%、家庭用耐久財が 3.9%、家事用消耗品が 0.1%の下落でした。



## (5) 被服及び履物

被服及び履物は 101.6 となり、前年に比べ 1.6%の上昇でした。

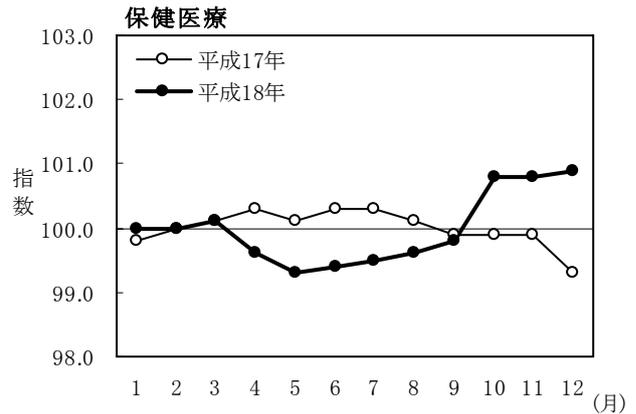
内訳をみると、衣料が 3.5%、履物類が 1.6%、被服関連サービスが 0.4%の上昇、他の被服類が 0.5%、シャツ・セーター・下着類が 0.3%の下落でした。



## (6) 保健医療

保健医療は 100.0 で、前年と同水準でした。

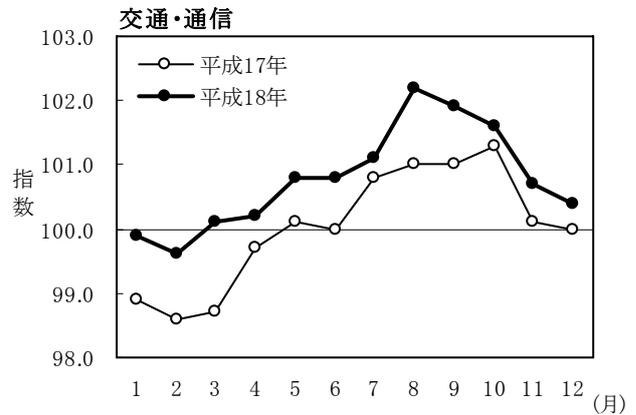
内訳をみると、保健医療用品・器具が 1.4%の上昇、保険医療サービスが 0.3%、医薬品・健康保持用摂取品が 0.1%の下落でした。



## (7) 交通・通信

交通・通信は 100.8 となり、前年に比べ 0.8%の上昇でした。

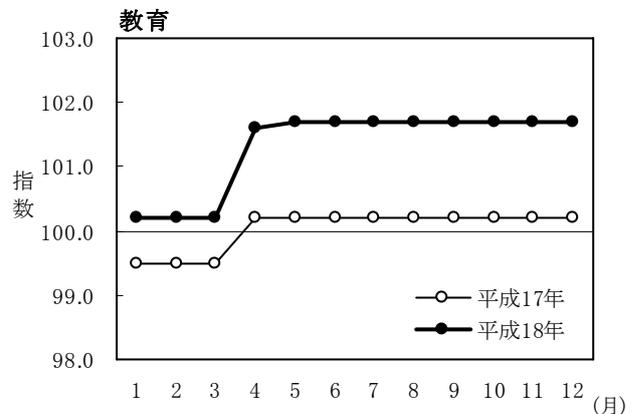
内訳をみると、自動車等関係費が 2.5%の上昇、通信が 3.7%、交通が 0.1%の下落でした。



## (8) 教育

教育は 101.3 となり、前年に比べ 1.3%の上昇でした。

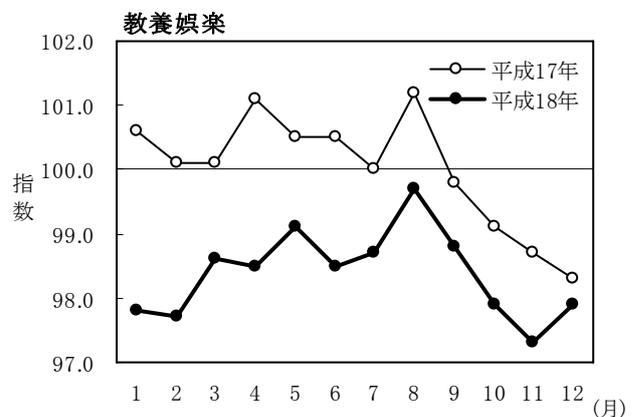
内訳をみると、授業料等が 1.8%、教科書・学習参考教材が 0.5%の上昇、補習教育は前年と同水準でした。



## (9) 教養娯楽

教養娯楽は 98.4 となり、前年に比べ 1.6%の下落でした。

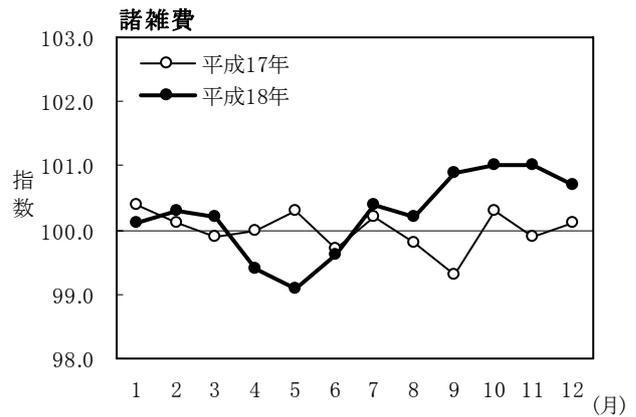
内訳をみると、書籍・他の印刷物が 1.4%、教養娯楽サービスが 0.5%の上昇、教養娯楽用耐久財が 18.7%、教養娯楽用品が 1.4%の下落でした。



#### (10) 諸雑費

諸雑費は 100.2 となり、前年に比べ 0.2%の上昇でした。

内訳をみると、7月のたばこ税の引き上げにより、たばこが 4.6%、身の回り用品が 4.4%、理美容サービスが 0.7%の上昇、他の諸雑費が 1.8%、理美容用品が 1.5%の下落でした。



#### 4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の上昇率の割合を 100分比（各費目の上昇率÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成18年三重県消費者物価指数は、総合でみると前年に比べ 0.3%の上昇でした。

総合に影響を及ぼした度合（寄与度）を主な中分類別費目でみると、交通・通信の自動車等関係費が 0.25、電気・ガス代のガス代が 0.10と物価を押し上げる方向に働いた一方、教養娯楽の教養娯楽用耐久財が-0.19、交通・通信の通信が-0.13と物価を引き下げる方向に働いた結果、全体の寄与度は 0.30（＝総合指数の上昇率が 0.3%）となりました。

(表3、図4)

表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

指数：平成17年平均＝100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度		寄与率(%)	
	平成17年 平均	平成18年 平均	平成17年 平均	平成18年 平均	平成18年 平均	平成18年 平均	平成18年 平均	平成18年 平均
総 合	100.0	100.3	-0.2	0.3	0.30	100.0		
持家の帰属家賃を除く総合	100.0	100.3	-0.2	0.3	0.26	85.4		
食 料	100.0	100.2	-0.5	0.2	0.05	17.1		
穀 類	100.0	99.9	-6.7	-0.1	-0.00	-0.7		
魚 介 類	100.0	102.1	0.3	2.1	0.05	17.8		
生 鮮 魚 介	100.0	103.3	-1.0	3.3	0.05	17.1		
肉 類	100.0	99.5	5.4	-0.5	-0.01	-3.5		
乳 卵 類	100.0	95.7	2.3	-4.3	-0.05	-16.0		
野 菜 ・ 海 藻	100.0	101.6	-5.2	1.6	0.04	13.7		
生 鮮 野 菜	100.0	102.1	-7.9	2.1	0.03	10.8		
果 物	100.0	103.0	0.6	3.0	0.03	10.5		
生 鮮 果 物	100.0	103.3	0.2	3.3	0.03	11.0		
油 脂 ・ 調 味 料	100.0	99.1	-1.9	-0.9	-0.01	-3.0		
菓 子 類	100.0	99.4	1.0	-0.6	-0.01	-4.5		
調 理 食 品	100.0	102.0	1.6	2.0	0.06	19.5		
飲 料	100.0	99.1	-1.6	-0.9	-0.01	-4.1		
酒 類	100.0	96.7	-1.4	-3.3	-0.03	-11.6		
外 食	100.0	100.1	0.3	0.1	0.01	1.8		
住 居	100.0	100.1	0.3	0.1	0.02	6.6		
持家の帰属家賃を除く住居	100.0	99.7	-0.3	-0.3	-0.02	-5.2		
家 賃	100.0	100.2	0.5	0.2	0.03	10.7		
持家の帰属家賃を除く家賃	100.0	99.8	0.4	-0.2	-0.00	-0.9		
設 備 修 繕 ・ 維 持	100.0	99.7	-0.4	-0.3	-0.01	-3.8		
光 熱 ・ 水 道	100.0	103.2	-1.0	3.2	0.21	71.3		
電 気 代	100.0	101.3	-3.9	1.3	0.04	13.2		
ガ ス 代	100.0	105.4	-1.8	5.4	0.10	33.8		
他 の 光 熱	100.0	123.2	24.6	23.2	0.09	29.4		
上 下 水 道	100.0	98.8	1.5	-1.2	-0.02	-5.5		
家 具 ・ 家 事 用 品	100.0	99.1	-2.4	-0.9	-0.03	-10.4		
家 庭 用 耐 久 財	100.0	96.1	-2.9	-3.9	-0.04	-14.9		
室 内 装 備 品	100.0	100.0	-7.0	0.0	0.00	0.0		
寝 具 類	100.0	101.7	-4.2	1.7	0.01	1.7		
家 事 雑 貨	100.0	101.6	-0.6	1.6	0.01	3.5		
家 事 用 消 耗 品	100.0	99.9	-2.8	-0.1	-0.00	-0.2		
家 事 サ ー ビ ス	100.0	100.0	0.2	0.0	0.00	0.0		
被 服 及 び 履 物	100.0	101.6	-0.1	1.6	0.07	24.7		
衣 料	100.0	103.5	-0.3	3.5	0.07	24.5		
シ ャ ツ ・ セ ー タ ー ・ 下 着 類	100.0	99.7	1.5	-0.3	-0.00	-1.5		
履 物 類	100.0	101.6	-1.7	1.6	0.01	2.5		
他 の 被 服 類	100.0	99.5	0.6	-0.5	-0.00	-0.6		
被 服 関 連 サ ー ビ ス	100.0	100.4	0.1	0.4	0.00	0.3		
保 健 医 療	100.0	100.0	-0.5	0.0	0.00	0.0		
医 薬 品 ・ 健 康 保 持 用 撰 取 品	100.0	99.9	-0.5	-0.1	-0.00	-0.4		
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	100.0	101.4	-0.9	1.4	0.01	3.6		
保 健 医 療 サ ー ビ ス	100.0	99.7	-0.3	-0.3	-0.01	-2.6		
交 通 ・ 通 信	100.0	100.8	1.0	0.8	0.12	41.4		
交 通	100.0	99.9	0.0	-0.1	-0.00	-0.7		
自 動 車 等 関 係 費	100.0	102.5	3.6	2.5	0.25	83.5		
通 信	100.0	96.3	-6.5	-3.7	-0.13	-42.3		
教 育	100.0	101.3	0.5	1.3	0.04	13.6		
授 業 料 等	100.0	101.8	0.8	1.8	0.04	14.3		
教 科 書 ・ 学 習 参 考 教 材	100.0	100.5	-0.1	0.5	0.00	0.1		
補 習 教 育	100.0	100.0	-0.5	0.0	0.00	0.0		
教 養 娛 楽	100.0	98.4	-1.0	-1.6	-0.17	-57.6		
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	100.0	81.3	-11.8	-18.7	-0.19	-64.8		
教 養 娛 楽 用 品	100.0	98.6	-0.5	-1.4	-0.03	-11.0		
書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	100.0	101.4	0.4	1.4	0.02	7.3		
教 養 娛 楽 サ ー ビ ス	100.0	100.5	-0.4	0.5	0.03	9.7		
諸 雑 費	100.0	100.2	-0.1	0.2	0.01	3.6		
理 美 容 サ ー ビ ス	100.0	100.7	0.2	0.7	0.01	3.2		
理 美 容 用 品	100.0	98.5	-0.8	-1.5	-0.02	-6.6		
身 の 回 り 用 品	100.0	104.4	-0.5	4.4	0.03	9.2		
た ば こ	100.0	104.6	0.0	4.6	0.03	8.9		
他 の 諸 雑 費	100.0	98.2	1.7	-1.8	-0.03	-9.2		

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

図3 費目別対前年上昇率(%)

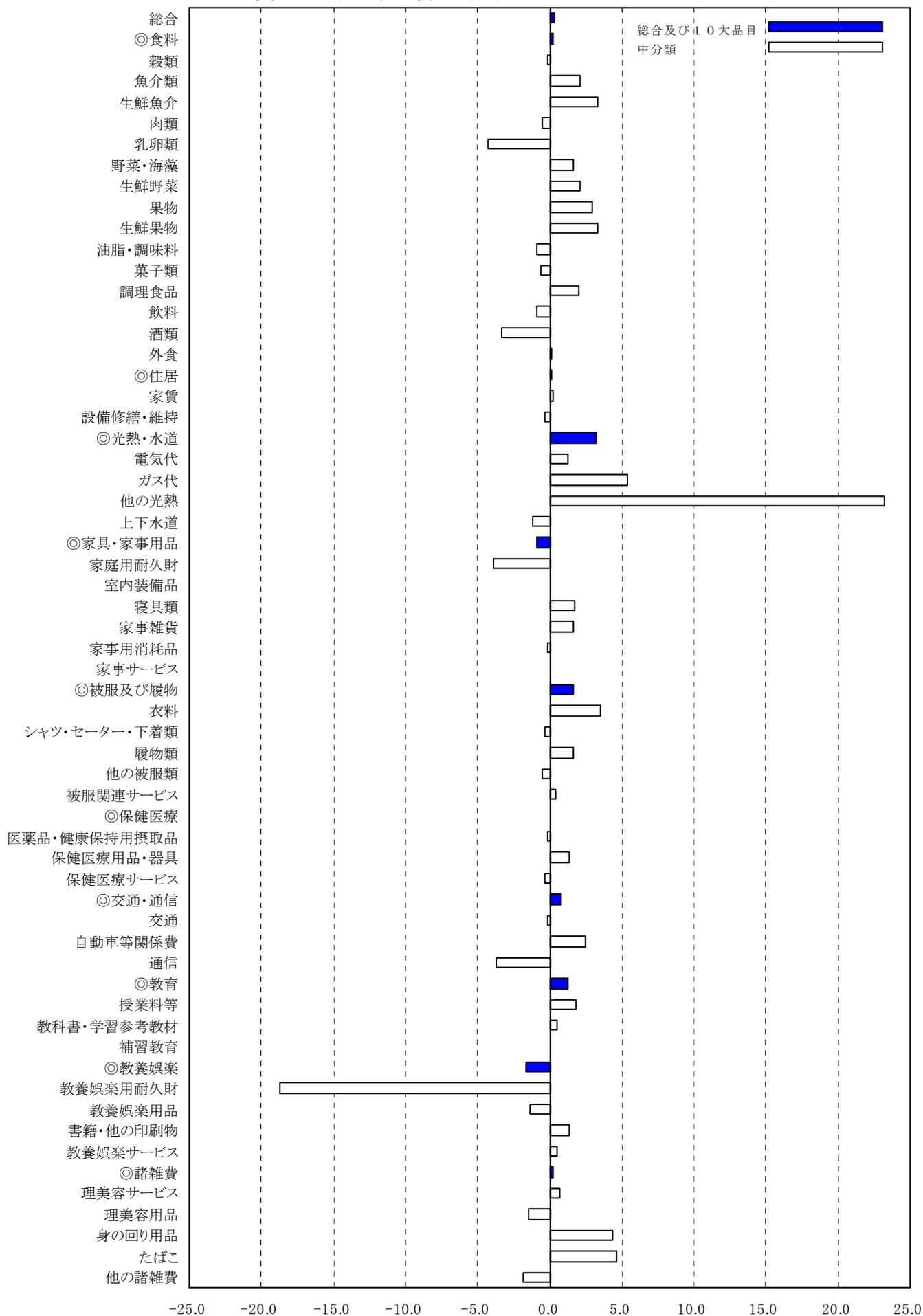
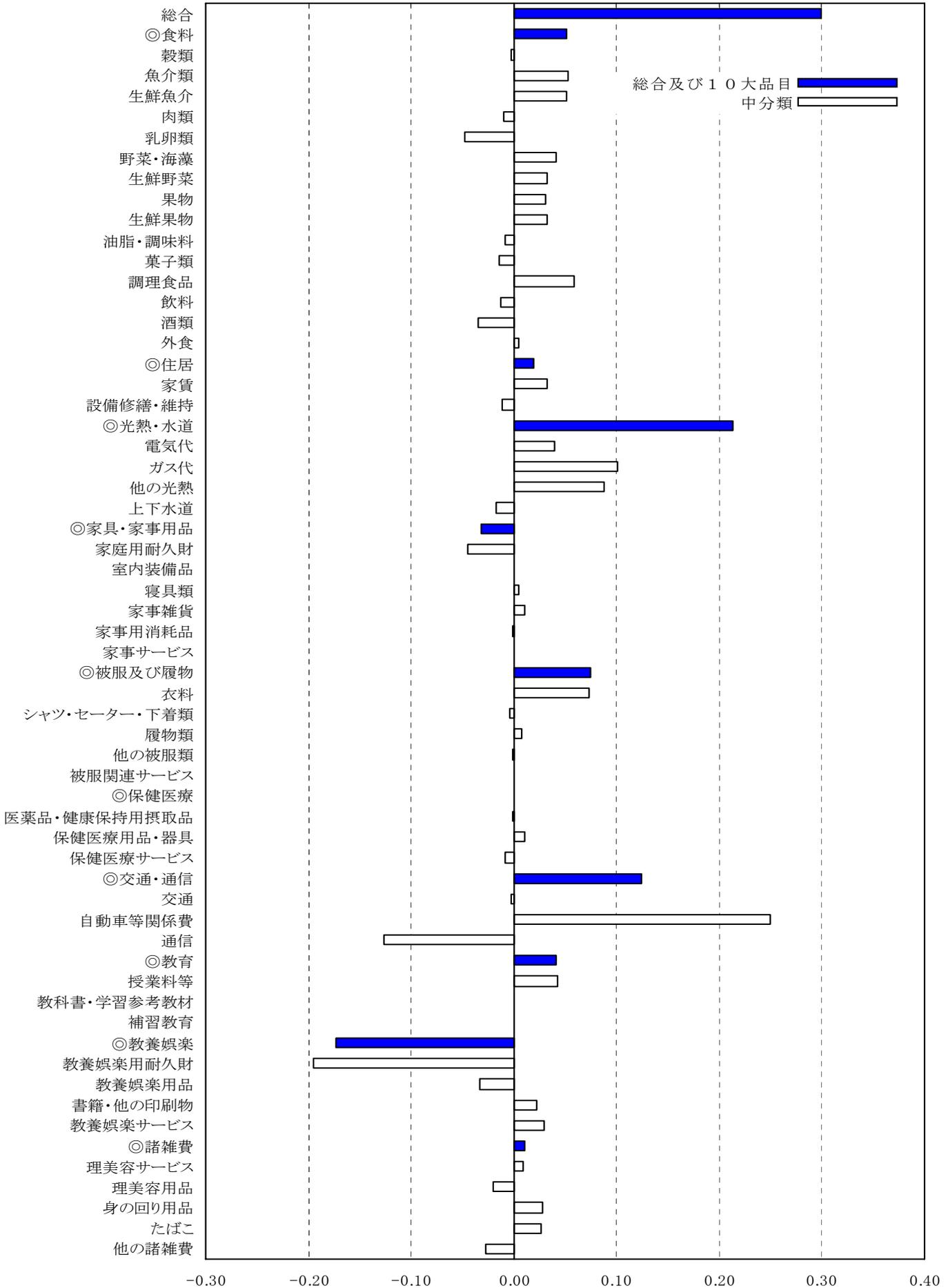


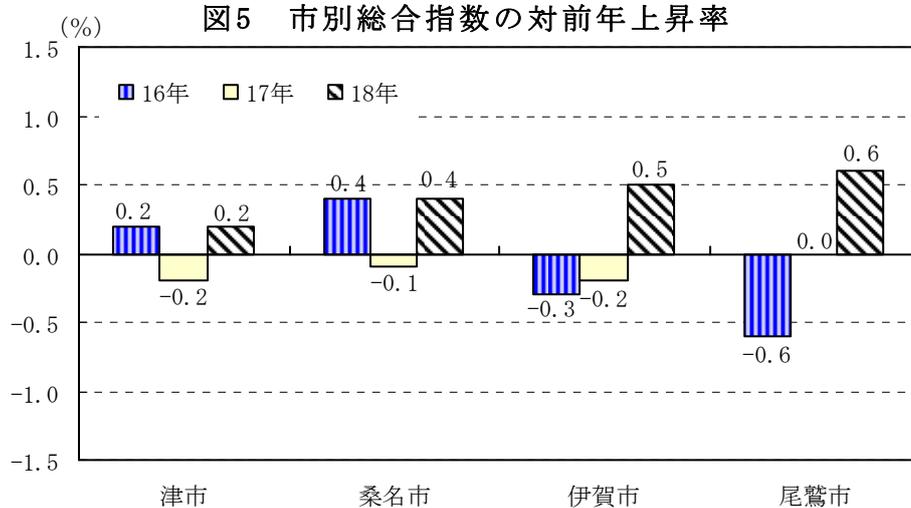
図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



## 5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、津市（\*）で0.2%、桑名市（\*）で0.4%、伊賀市（\*）で0.5%、尾鷲市で0.6%の上昇でした。

（図5、表4）



（内訳）

4市を通してみると、いずれの市も光熱・水道、被服及び履物、交通・通信、教育が上昇し、教養娯楽が下落しました。

個々に見ると、津市（\*）では、家具・家事用品が0.1%の上昇で、4市の中で唯一の上昇となっています。

桑名市（\*）では、住居が0.6%の上昇で、4市中最大の上昇幅となっています。

伊賀市（\*）では、食料が0.9%の上昇で、4市中最大の上昇幅となり、家具・家事用品が2.2%、教養娯楽が1.9%の下落で、4市中最大の下落幅となっています。

尾鷲市では、光熱・水道が10.0%、被服及び履物が2.6%の上昇で、それぞれ4市の中では最大の上昇幅となっています。また、食料が0.3%、住居が0.8%、諸雑費が1.4%の下落で、4市の中で唯一下落しています。

**表4 都市別10大費目別対前年上昇率**

（単位：%）

	総合	持家のく 除 帰 属 家 賃 を 合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
津市	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.1	1.9	-0.1	0.9	1.9	-1.6	0.7
桑名市	0.4	0.3	0.2	0.6	4.8	-1.6	0.4	0.2	0.7	0.8	-1.7	0.1
伊賀市	0.5	0.5	0.9	0.1	4.4	-2.2	2.3	0.0	0.7	1.0	-1.9	0.0
尾鷲市	0.6	0.9	-0.3	-0.8	10.0	-1.3	2.6	-0.4	0.5	0.9	-0.3	-1.4

※（\*）については、市町村合併前の旧市地域での調査